

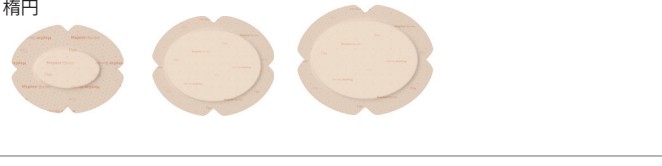
【製品規格】

	製品番号	サイズ[パッドサイズ] (cm)	枚/箱
スクエア	595211	7.5×7.5 [4.5×4.5]	10
スクエア	595311	10×10 [6.5×6.5]	10
スクエア	595011	12.5×12.5 [8.5×8.5]	10
スクエア	595411	15×15 [11×11]	10
スクエア	595611	15×20 [11×16]	10
楕円	583500	7.8×10 [15cm²]	5
楕円	583300	13×16 [85cm²]	5
楕円	583400	15×19 [134cm²]	5
かかと	282710	22×23	10
せんこつ	282010	16×20	10

スクエア



楕円



かかと



参考文献

1. Mölnlycke Health Care (PD-530246) 18-01-2017, Ioana Albert 106650-FEdev_Bordered_Foam_workshop.pptx
2. Alten. Finite Element Modelling simulation Report no. PD-530246. Data on file.
3. Pro Derm study report 16.0180-23 Assessment of Wearing Properties of Wound Dressings on the Knees. Data on file
4. Pro Derm study report 16.0180-23 Assessment of Wearing Properties of Wound Dressings on the Elbows. Data on file
5. White R., A multinational survey of the assessment of pain when removing dressings. Wounds UK, 2008, 4(1): 14-22
6. White R., Evidence for atraumatic soft silicone wound dressing use, Wounds UK, 2005, 1(3)104-109
7. Meaume S., A study to compare a new self-adherent soft-silicone dressing with a self-adherent polymer dressing in stage II pressure ulcers. Ostomy Wound Management 2003;49(9): 44-51
8. Woo KY, A randomised crossover investigation of pain at dressing change comparing 2 foam dressings. Advances in skin and wound care 2009;22(7):304-311
9. Mölnlycke Health Care (GMCS-2017-058) 2017.
10. Mölnlycke Health Care Data on file 2017
11. Moore, Z., Cowman, S. Pressure ulcer prevalence and prevention practices in care of the older person in the Republic of Ireland. J Clin Nurs 2012; 21: 3-4, 362-371. Leijon, S., Bergh, I., Terstappen, K. Pressure ulcer prevalence, use of preventive measures, and mortality risk in an acute care population: a quality improvement project. J Wound Ostomy Continence Nurs 2013; 40: 5, 469-474.
12. The biomechanical efficacy of dressings in preventing heel ulcers Ayelet Levy, Mor Ben-Or Frank, Amit Gefen

【使用上の注意】

- 1) 傷やけが、皮膚疾患やその疑いのある部位には使用しないこと。
- 2) 小児に使用する場合には、保護者の監督のもとで使用すること。
- 3) 目やその周囲、口の中など、粘膜には使用しないこと。
- 4) 本品の構成成分に対して過敏な人またはアレルギー反応を有する人に、本品を使用しないこと。
- 5) 本品は局所管理に使用する製品であるため、体位変換やスキンケアなど必要に応じて行うこと。
- 6) 本品はクッション性を有するが、体圧分散を目的に使用する際は本品単体ではなく、他の適切な体圧分散器具を併用すること。
- 7) 本品使用時には、他のパッド、フィルムなどを上から覆うように使用しないこと。
- 8) 本品は1回のみの使い捨てであり、再使用はしないこと。
- 9) 使用を始めてからの初期には、頻繁に観察すること。特に体圧や医療関連機器などによる外力を軽減させたい部位については必ず定期的に観察すること。
- 10) 本品を使用し、窒息の恐れがある部位への使用は避けること。
- 11) シャワー浴を実施する場合は、周囲のボーダー部分が密着していることを確認すること。貼付したままの入浴は避けること。
- 12) 本品は7日間を限度として交換すること。その場合においても観察はおこなわないこと。消耗が見られる場合は新品と交換すること。
- 13) かぶれ、かゆみ、湿疹などの症状が現れた場合は、直ぐに使用を中止し、医師に相談すること。
- 14) 本品が次亜塩素酸塩液や過酸化水素液等の酸化剤に触れないようにすること。(ポリウレタン成分を分解することがあるため)

【保管方法】

- ① 高温多湿、直射日光を避けて室温で保管してください。
- ② 小児の手の届かない所に保管してください。
- ③ 製品包装に記載されている使用期限を守って使用してください。

Mepilex® Border Protect

メピレックス® ボーダー プロテクト

スクエア／楕円／せんこつ／かかと



Less pain. Less trauma.

メンリッケヘルスケアは、ソフトシリコンを用いた、痛みや組織損傷の少ないドレッシング材を開発し、患者さまの視点からの"アウトカム"向上を提唱しております。

輸入販売元

メンリッケヘルスケア株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-20-7
コンシェルシア西新宿タワーズウェスト
TEL:03-6914-5004

製品に関するお問い合わせ

メンリッケヘルスケア株式会社

ウンドケア事業部
TEL:03-6279-0991



MHCJPWC-202606-04



Safetac®, Mepilex®, セーフタック®, メピレックス®はMölnlycke Health Careの登録商標です。

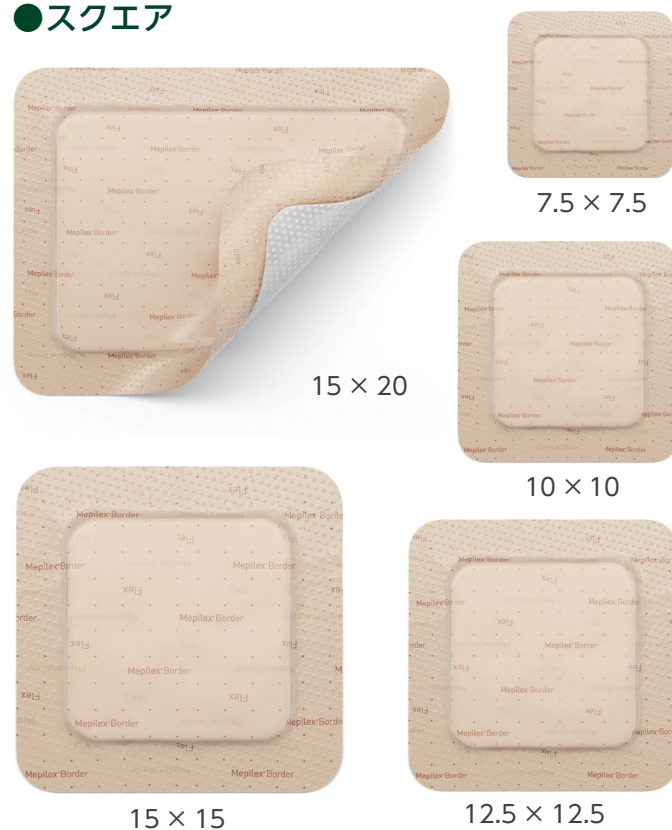
Mepilex® Border Protect

メピレックス® ボーダー プロテクト

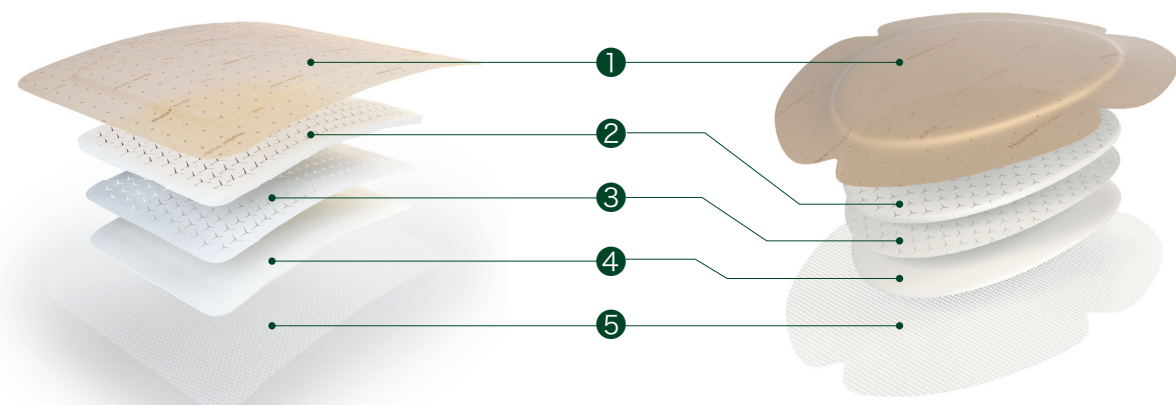
Your first line of defence ダメージを受けやすい部位に

メピレックス®ボーダー プロテクトは、摩擦やズレを予防する皮膚保護パッドです。独自の多層構造によってズレ(せん断力)を軽減し、摩擦を軽減、圧力を分散し、高い水蒸気透過性によりバランスの良いマイクロクライメット(微気候)管理を実現します。

●スクエア



●楕円



①パッキングフィルム層

摩擦係数の低いフィルムにより、衣服やシーツと保護パッドとの摩擦を軽減します。また、せん断力の伝達と影響を抑制します。高い水蒸気透過性により、過剰な水分を蒸発させます。

④フォーム層

緩衝材の役割を果たし、局所の体圧分散を促します。保護パッドの層が動くことで、せん断力を吸収し、その伝達を抑制します。

②アクリル繊維層

吸水性に優れているため、過剰な水分を保持することにより、外部からの力に対する組織耐性の低下のリスクを低減します。

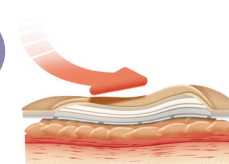
⑤皮膚接触面

セーフタック®テクノロジーにより、皮膚にやさしい粘着力を実現しています。脆弱皮膚に対しても、剥離刺激を軽減し、皮膚の観察や評価などを繰り返し行っても、適切な貼り直しが可能です。

③不織布層

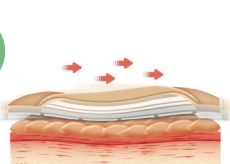
皮膚のずれ方向への伸長および裂開を防ぎます。それにより深部組織の変形を最小限に抑えることにつながり組織を支持します。横方向への伸縮性があるため、保護パッドが体型にフィットし、追従します。

皮膚を保護する4つのポイント



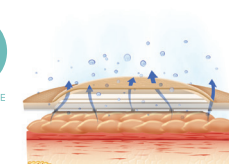
ズレカの分散

皮膚保護パッド内部の各層と伸縮性のあるソフトシリコン粘着材(セーフタック®)が、力を吸収・分散し皮膚を保護します。



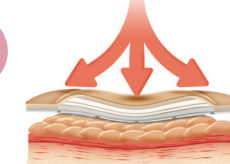
摩擦の軽減

滑らかなパッキングフィルムにより、ズレの原因となる摩擦を軽減します。



マイクロクライメット(微気候)のバランス維持

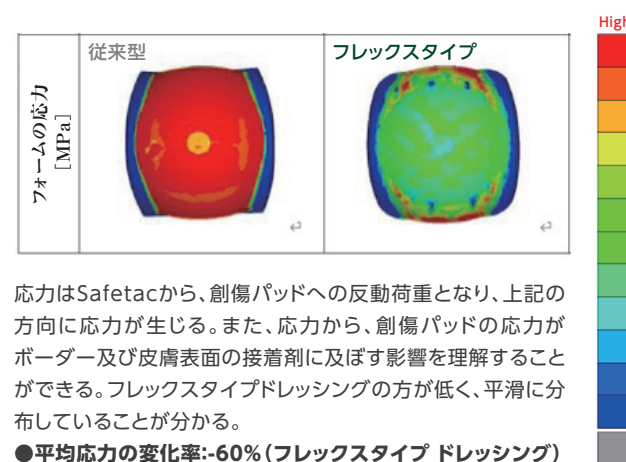
高い水蒸気透過性により、湿度と温度を適正に保ち、皮膚を保護します。



圧の軽減

十分な厚さがある5層構造の皮膚保護パッドは、上からの圧力をより広い範囲に分散させ、皮膚に伝わる力を軽減します。

湿潤状態の解析結果の比較(曲げ角8度)¹



応力はSafetacから、創傷パッドへの反動荷重となり、上記の方向に応力が生じる。また、応力から、創傷パッドの応力がボーダー及び皮膚表面の接着剤に及ぼす影響を理解することができる。フレックスタイプドレッシングの方が低く、平滑に分布していることが分かる。

フレックステクノロジー

Y字カットのフレックステクノロジーが全方位への伸長を可能にしました。² 体型に追従して長期間貼付でき、快適な使用感が患者さまの動きを妨げません。^{3,4}



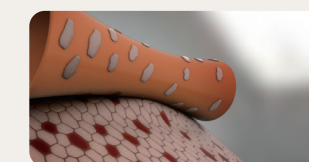
Safetac®
TECHNOLOGY

セーフタック®テクノロジー

痛みと組織損傷リスクを軽減^{5,6,7,8}

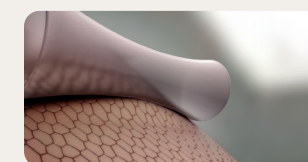
- 創縁や創周囲皮膚の損傷リスクを軽減します。
- 創傷治癒を組織損傷によって遅延させません。
- ソフトシリコン粘着剤は、低アレルギー性で、また皮膚かぶれのリスクも軽減します。

従来の粘着剤*



ドレッシング交換時に、粘着剤接触部に強い力がかかり、表皮剥離のリスクがあります。

セーフタック®テクノロジー



ドレッシング交換時の表皮剥離のリスクを軽減します。

やわらかくやさしい装着感

- ドレッシング全体がやわらかく、屈曲部位にもなじみやすく皮膚に密着します。
- 患者さまの皮膚をやさしく保護し、QOLを改善します。

*当社救急絆創膏との比較(自社データによる)



皮膚凹凸部の一部分にのみ接触しているため、ドレッシングと健康皮膚の間に滲出液が漏れるリスクがあります。

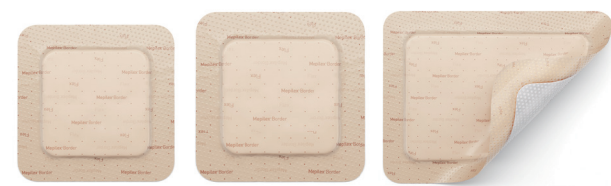


皮膚の凹凸部にしっかりとシーリングし、滲出液が創周囲の皮膚に広がるのを防ぎます。

伏臥位皮膚保護用ドレッシング貼付例



額・顎・頬



腸骨稜部

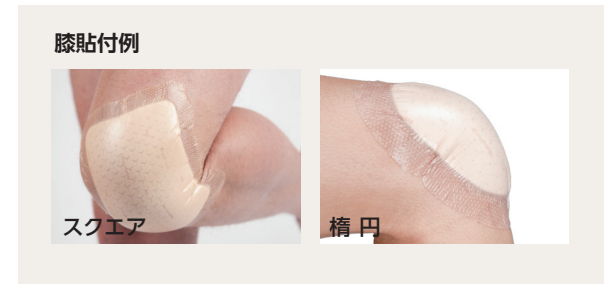


足趾

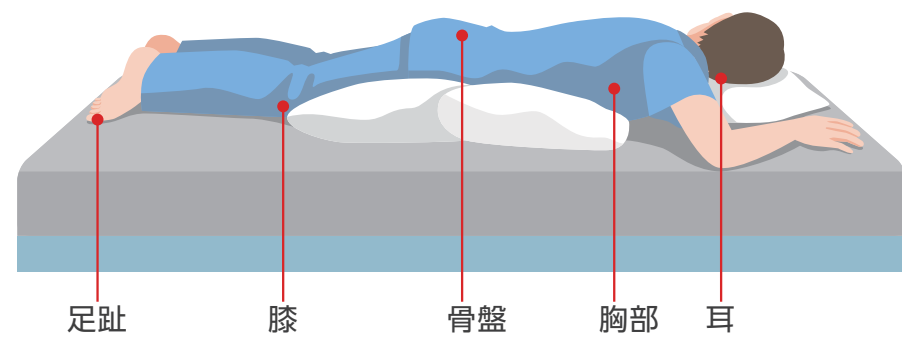
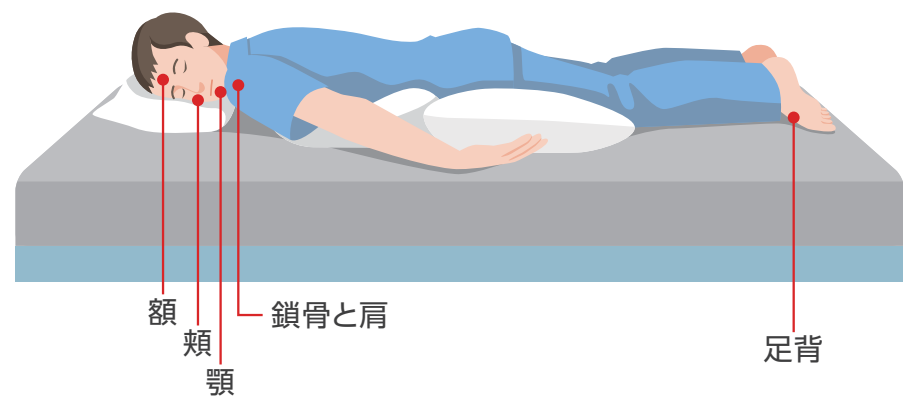
鎖骨・胸部



膝



足背



参考資料
Barakat-Jonson M, Carey R, Coleman K, Counter K, Hocking K, Leong T, Levido A, and oyer F, Pressure injury prevention for COVID-19 patients in a prone position, Wound Practice and Research

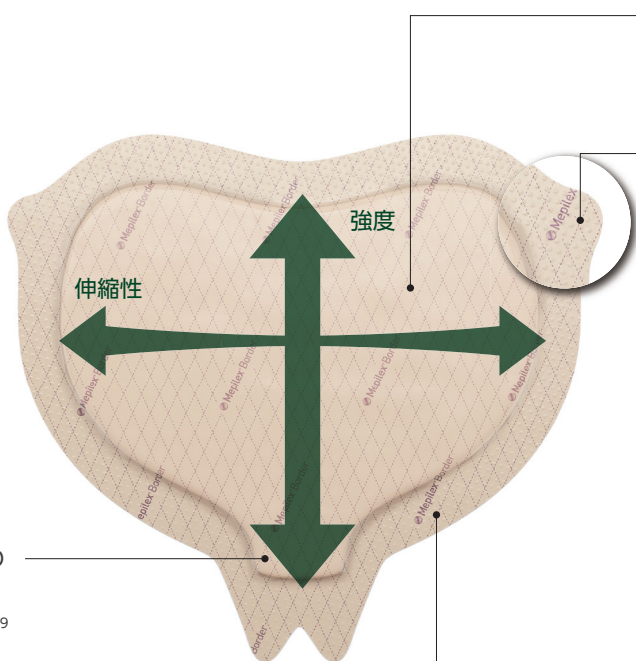
Mepilex® Border Protect

メピレックス® ボーダー プロテクト
かかと・せんこつ

●せんこつ

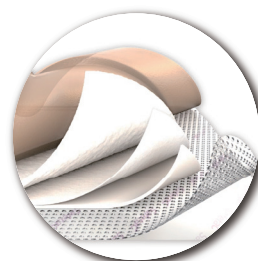
横方向に伸張性があり、
縦方向には
あまり伸張性はありません。

ハイリスクなせんこつ部分の
保護を強化するため、
臀部の密着性を高めました。⁹



せんこつ・かかとに効果的に貼付できる
ようにドレッシング材の形状を工夫しま
した。

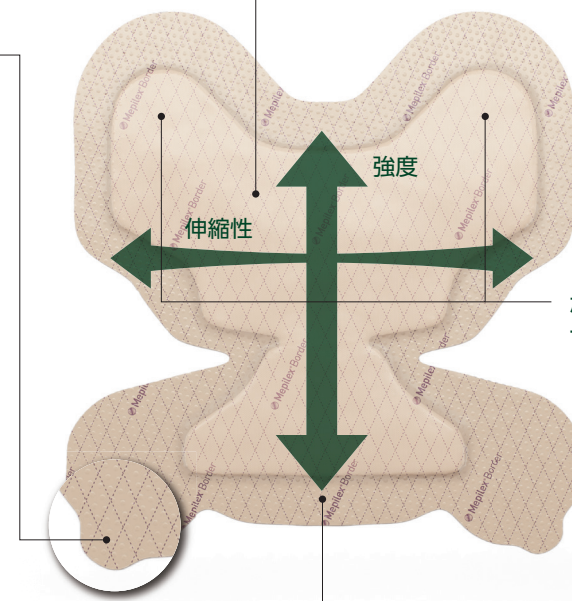
視覚的に確認できるタブ
ドレッシング材を把持する最適な場所
が分かりやすい形状で、貼付下の皮膚
の観察を行いやすくしました。
※せんこつ、かかとのみ



独自の
5層構造
デザイン

ドレッシング材のボーダー部分
ボーダー部分を厚くし、扱いやすくしました。⁹
※せんこつ、かかとのみ

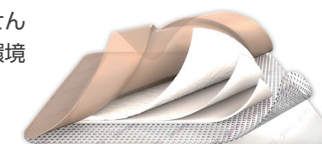
●かかと



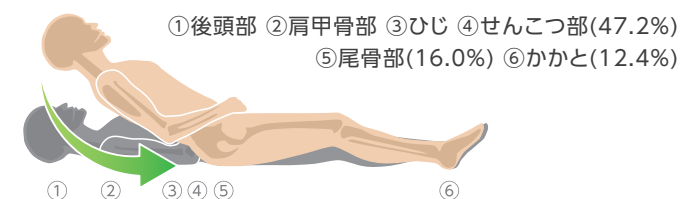
かかと部に貼付
できる形状。⁹

皮膚を保護する5層構造

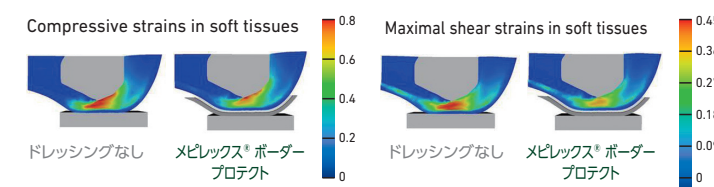
保護パッド内部の層が動くことで、せん
断力を吸収し、伝達を抑制し、皮膚環境
バランスを保ちます。¹⁰



褥瘡の好発部位¹¹



圧力 FE(有限要素) モデリング¹²



せん断力の伝達シミュレーション。メピレックス® ボーダー プロテクトは、
スレによるゆがみの総量とレベルを減少させることが検証されています。

【せんこつ】貼付方法



保護したい部位を確認し、適切な貼付
位置を決める。

貼付部位の皮膚を整えた後、中央の剥
離紙をゆっくりとはがす。

臀部をよく伸展させ、臀裂から粘着部分に
沿ってせんこつ部まで貼付する。この際、尾
骨部分がパッドで覆われるように注意する。

左右に残された剥離紙をはがし、ゆっ
くりと肌に沿わせるように全面を貼付
する。

貼付されたところ。

貼付した部分全体にやさしく触れ、全
体が皮膚に接着していることを確認
する。

【せんこつ】貼付下の確認方法



本品がよれたり汚染なく、正しく貼付
されていることを確認する。

左右両端にあるタブをやさしくはがす。

タブ部分を保持したまま、皮膚の状態
が確認できるまではがす。

臀裂部分は貼付したまま、パッドの下
の皮膚の状態を確認する。

本品を再度、同じ位置に貼付する。

本品が元の位置に貼付されたこと、
ボーダー部分がよれたりせずに貼付
されていることを確認する。

【かかと】貼付方法



中央の剥離紙をはがし、本品を貼付し
たいかかとの下に沿わせる。
Aの部分がアキレス腱側

Aの部分をアキレス腱側、AとBの中央
のくびれている部分にかかとを合わせ
て貼付を開始する。

Aの残された左右両側の剥離紙をは
がし、くるぶし部分に沿わせて貼付し、
なじませる。反対側も同様に貼付する。

Bの部分を足底に沿わせながら貼付
する。

Aと同様に残された左右両側の剥離
紙をはがし、両端のタブ部分を持ちな
がら、貼付してなじませる。

貼付した部分全体にやさしく触れ、全
体が皮膚に接着していることを確認
する。

【かかと】貼付下の確認方法



本品がよれたり汚染なく、正しく貼付
されていることを確認し、両端のタブ
を持ちながらやさしくはがす。

本品の両端のタブ部分を保持したま
ま、皮膚の状態が確認できるまでは
がす。

Aの部分を貼付したまま、パッド部分
の下の皮膚の状態を観察する。

本品を再度、同じ位置に貼付する。

本品が元の位置に貼付されたこと、
ボーダー部分がよれたりせずに貼付
されていることを確認する。

貼付した部分全体にやさしく触れ、全
体が皮膚に接着していることを確認
する。